

備前市事務事業評価表

事務事業名	企業立地促進事業		コード	04-02-01-03
			担当課・係	商工観光課企業誘致係
			担当者	草加道也
事業実施期間	昭和46年度～		電話	64-1848
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目（基本施策）	起業と創造就るまちづくり		
	小項目（施策）	企業誘致		

事業について	
目的 (何のために)	企業立地の促進と雇用機会の拡大を促進し、地域産業の発展と市民生活の安定を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市内に立地する企業
内容	・企業立地促進奨励金などの奨励金交付 ・企業立地にかかる調査研究及び情報の収集、交換

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
奨励金交付企業数	0 社	2 社	
企業立地協議会費	1 件	1 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	20	間接補助金等		直接事業費	143,080	間接補助金等	100,000
	人件費	1,018	受益者負担		人件費	5,837	受益者負担	
	合計	1,038	一般財源等	1,038	合計	148,917	一般財源等	48,917

結果指標 ①	結果指標名	奨励金交付企業数	誘致企業立地数
	結果指標量	0	2
	対前年比	—	—
結果指標 ②	活動にかかるコスト	1,038,000 円	148,917,000 円
	単位当たりコスト①	円	74,458,500 円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	企業立地の促進と雇用機会の拡大を促進し、地域産業の発展と市民生活の安定を図る。
成果指標名	奨励金交付企業数
式又は説明	1 社以上
成果指標量	17年度: 0, 18年度: 2
対前年比	—
到達目標値	1

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 企業立地促進奨励金交付要綱	妥当性評価<A~E>	A
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	企業進出を助長する要因ではあるが、交付要件を緩和し対象となる企業を拡大する必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	奨励金は県補助金も受けるなどできるだけ市の支出を抑えている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は向上する余地がある			
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E>	B
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	備前市独自の優遇施策を創設するなどして、広く企業にアピールすることが必要である。

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	企業立地する企業を補助金交付により支援していく。
目標値	結果指標量①	1 件以上	結果指標量②	1 件以上

総合評価	企業が進出を決定する1つの要因であると考えられるが、どれだけの有効性があるかは不明である。備前市独自の優遇施策を検討していく必要がある。	評価区分 <A~E>	B
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	交付金政策のPR	20年度	企業誘致の促進が図れる。